



MARUZUKA

浜松市立丸塚中学校
学校だより 第1号
令和7年4月17日

校庭を舞う桜の花びらと心地よい暖かな風に春本番を感じさせる中、令和7年度がスタートしました。職員一同、子供たちの健やかな成長に向けて全力で教育活動に邁進していく所存です。地域・保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

＜始業式＞

4月7日、始業式。2・3年生の令和7年度のスタートの日です。2年生は学校の心臓となり、今年度の後期には、学校を動かす中心となります。また、部活動も先輩たちの背中を追い続けた日々から、後輩たちに姿で示す学年となります。3年生は丸塚中の最上級生として、中学校生活の集大成の学年となります。後輩たちにとって高き壁となって、尊敬と憧れの存在となるべく、前進し続けてほしいと思います。そんな2・3年生に送った始業式での校長の式辞を以下に掲載します。

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。それぞれが新たな気持ちを胸にスタートが切れたと思います。3年生は、いよいよ中学校生活、そして義務教育最後の1年となります。自分の進む道を定めて、それに向かって悔いのない生活を送ってください。2年生は、先輩となります。まだ2年生になったばかりだと思っているとあと数か月で3年生は部活動を引退して自分たちの代となります。後期からは生徒会を組織して丸塚中を引っ張っていく存在となります。充実した1年となるように新たな気持ちで頑張ってください。



さて、皆さん、突然ですが質問です。自分のことが好きな人？ 自分のよさを自覚している人？ 自分のことを大切にできている人？ 実は、このように自分のよいところを発見し、自分を好きになり、自分を大切にできる力のことを「自己肯定の力」と言います。昨年度3学期の始業式では、この自己肯定の力を高めていくために、丸塚中学校が取り組んでいく令和7年度のキーワードをお話ししました。詳しくは新年度になったらお話ししますと言っていますが、その3つのキーワードを覚えている人？ 今年の丸中の重点目標は「対話・信頼・感謝の風土づくり」です。

「対話」に似た言葉に「会話」や「議論」がありますが、違いを説明します。

「会話」とは、複数の人が互いに話すことで、別に相互理解を目的とはしていないので、基本的には浅く、広い話し方になります。簡単に言うと、おしゃべりと言っていいでしょう。次に「議論」です。「議論」は、自分の意見がいかに正しいかを論理的に組み立てて主張し、相手を説得する行為になります。だから、授業の中で正解を求めて話し合うことは議論することが多いと言えます。しかし、この時に気を付けなければいけないのは、正しいことを言った方が優れているという認識を持ちがちになり、人を優劣で判断してしまう危険性があるということです。最後は「対話」です。「対話」とは、お互いの主張を述べ合い、そして傾聴し合うことで、自分の考えも相手の考えも尊重し合い、相互理解を深めることを言います。対話の後に、話す前とは違う新たな気付きや関係性などが生まれたとしたらさらに好ましいのです。対話には勝ち負けや優劣はありません。どちらの考えも尊重されるのです。例を挙げるのでやってみましょう。今から隣の人と「対話」をします。2択の問題を出すので、自分はどちらがいいか理由とともに考えを伝えてください。仮に同じものを選んだとしても、理由は違うと思うので対話ができます。注意することは1つです。相手の意見を否定しないこと。自分とは違う考えでも、それを尊重することができるかどうか大切です。今からお題を出すので、まずは30秒間、心の中で自分の考えをまとめてください。その後に1分間「対話」を続けます。話す前とは違う新たな気付きや関係性が生まれた2人組はさらに素晴らしいですね。それではまずは黙って自分の考えをまとめてください。

お題は、「中学校で修学旅行に行くなら東京方面か？ 京都・奈良方面か？」

正解はないけれど、それぞれの思いを受け止めることが大切です。

今、対話を経験しました。実は、この対話によってお互いの思いを尊重することができると、そこには「信頼」が生まれます。お互いの信頼が厚くなっていくと、そこには、相手への感謝の気持ちが生まれます。感謝の気持ちが高まると、また次の対話の質が高まっていきます。これが「対話・信頼・感謝の風土づくり」です。

令和7年度は、授業はもちろん、学校での全ての活動において、この「対話」を大切にしながら、自分のよさ、友達のよさをたくさん見つけてください。そして、自分の可能性を広げ、より充実した中学校生活を送ることで、自己肯定の力を高めていってほしいと思います。

以上、始業式の話としたいと思います。

<入学式>

4月8日、入学式。真新しい制服に身を包み、ドキドキしながらくぐった丸塚中の門。この日から丸塚中生の仲間入りを果たした177人の新入生が瞳をキラキラ輝かせながら入学式に臨みました。これから始まる中学校生活の3年間で、今は何も描かれていない白紙に自分だけの地図を描き続けてほしいと思います。そして、主体的に学び、多くのものと対話し、自己を磨き続けてほしいと思います。

<新任職員の紹介>

令和6年度末の人事異動により、新しく丸塚中に赴任した職員です。よろしくお願いします。

教 頭	山下 孝二	北浜東部中より
教 諭	坪井 勇太	湖東中より
教 諭	松村 洋平	東陽中より
教 諭	田代 和人	与進中より
教 諭	村上 弘	西部中より
教 諭	桜井 冴子	新規採用
栄養教諭	宮本 千尋	天竜中より
教 諭	鈴木真奈美	可美中より
教 諭	平尾 綾乃	
教 諭	長坂 夢果	
非常勤講師	上久保廣信	北星中より
養護教諭補助員	大桑 礼香	伊目小より
スクールカウンセラー	太田 泉	
スクールソーシャルワーカー	國吉恵利子	
教科指導員	北村 祐子	



<今後の予定>

- 4月16日(水) 専門委員会、こころの日
- 17日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)
- 21日(月) 3年生午後カット
- 22日(火)～24日(木) 修学旅行(3年)
- 25日(金) 3年生午前カット
- 28日(月) 眼科検診(1年)
- 5月 2日(金) 授業参観会、学級懇談会、PTA常任・理事会
- 7日(水) 心電図検査(1年)